

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」学園だより

と う う ん
稲 雲

令和7年度 第12号

令和7年 10月 15日発行

発行者：校長 田中 朗裕



○いわせ地区小学校陸上競技交流大会が終了しました！

10月2日（木）に、第12回の「いわせ地区小学校陸上競技交流大会」が開催され、本校の6年生25名が参加しました。夏休み明けから毎日朝と放課後の練習を続け、大会直前は、自己記録を更新する日が続くなど、順調な仕上がりを見せ、大会を迎えました。努力を積み重ねた成果を実感している子どもたちの表情は自信にあふれていて、見ている側も頼もしく感じました。大会本番でも、多くの児童が自己記録を更新し、納得のいく大会になったようです。また、仲間を本気で応援する姿もたくさん見られ、学級としての絆の強さも感じました。帰校後に、代表の児童から「感動できるレース」をすることができたという報告があり、競技力ばかりではなく、精神面での成長の大きさも感じることができました。入賞者は、女子80mハードル第5位、男子ジャベリックボール投げ第6位、男子走高跳第6位の3名でした。



○稲田学園の生徒が大活躍です！

音楽部が2つの全国大会に出場することが決定しました。11月2日（日）に郡山市文化センターで開催される「第14回日本学校合奏コンクール2025 全国大会ソロ&アンサンブルコンテスト」、11月9日（日）に東京都の尚美バリオホールで開催される「2025（第31回）日本管楽合奏コンテスト」に出場することが決まりました。全国大会では、自分たちの音楽に自信と誇りをもって演奏してくれると思います。また、バドミントン部の女子と男子（稲田ジュニア）が、10月13日（月）に行われた県中大会で勝ち進み、団体及び個人で県大会に出場することが決定しました。県大会は11月1日（土）・2日（日）に会津総合体育館で開催です。

女子団体 第2位、女子ダブルス 第2位、女子シングルス 第5位 県大会出場
男子団体（稲田ジュニア） 第1位、男子ダブルス 第1位・第5位 県大会出場

○4・5年生が宿泊学習に行ってきました！

10月8日（水）と9日（木）の2日間、4・5年生が宿泊学習で国立那須甲子青少年自然の家に行ってきました。1日目は茶臼岳登山やキャンドルファイヤーでした。茶臼岳登山は、悪天候のため、頂上でのお弁当とはなりませんでしたが。2日目は「なすかしの森」での体験活動や東日本大震災についての学習など、たくさんの学びをしました。友だちとの宿泊、食事やベットメイキング、部屋の片付け・清掃などの体験をすることもでき、大きく成長した2日間でした。



○児童生徒の表現力が高まってきました！

10月7日（火）に、児童生徒会の新役員の任命式と表彰集会を実施しました。児童生徒会役員は、任命状を受け取った後、全校生に向かって新役員としての目標を語ってくれました。全校児童生徒が力を合わせて、よりよい学園づくりをしてくれることを期待しています。また、表彰集会では、表彰を受けた児童生徒が、自分の言葉で思いを伝えることができました。児童生徒の表現力を向上させることを目的に、表彰集会などで話をしてもらっていますが、児童生徒の話す姿や内容に成長が感じられ、嬉しく、頼もしさを感じています。



○「性に関する授業」を実施しました

10月14日（火）の5校時目に、5・6年生に「いのちの授業」を実施しました。公立岩瀬病院から助産師さんを講師にお迎えし、「いのちのルーツ」、「胎児の成長」、「自分の命を大切にする生き方」などについて、丁寧に教えていただきました。今日の授業を通して、子どもたちが「自分の命」と向き合い、自分を大切にしようとする気持ちになってくれたらと思います。そうすることができれば、きっと他人の命も大切にできる人が増え、温かい社会を作れると思います。



○戦争や平和について考える時間を過ごしています

学校ボランティアの方に来校していただき、「読み聞かせ」を実施しています。2学期は、「地雷ではなく花をください」や「エリカ 奇跡のいのち」という本を読み聞かせていただき、後期課程の生徒が、戦争の悲惨さや平和の大切さについて考えることができます。毎回、子どもたちの発達の段階やその時々子どもたちに考えてほしい内容の本を選んでいただいているおかげで、とても静かで、有意義な時間になっています。子どもたちの真剣な表情からもそれが伝わってきています。



随 想

自己マネジメント力・自己肯定感の向上を ～「秋華祭」を通して～

本校の文化祭である「秋華祭」が10月17日（金）に迫ってきました。現在子どもたちは、「秋華祭」当日に向けて一生懸命に活動をしているところです。秋華祭の活動が始まる前に、先生方に伝えたことは「子どもたちが自分の力で成し遂げたという実感をもてるように」、「様々な活動を通して自己マネジメント力を高められるように」の2つでした。そして先生方が今、子どもたちにこの2つの目標を達成できるような場をたくさん提供してくれていることに感謝しています。この期間の子どもたちには「やること」がたくさんあります。忙しい日々を過ごしているからこそ、自分がすべきことに優先順位をつけたり、やりくりをしたり、計画を立て、それを見直しながらやり遂げる、という成功体験を積み上げ、自己肯定感を高めるなど、様々な力を身に付けてほしいと思っています。当日の発表がうまくいくことはもちろんですが、それ以上に、今子どもたちがいる「過程」を大切にしたいと思っています。